



～かごしまの遺跡～

第19号

令和元年6月10日

春日堀遺跡

(志布志市有明町)

一万年前の大規模集落

春日堀遺跡は、菱田川右岸にある標高約 30m の河岸段丘上に位置する縄文時代早期（約 1 万年前）の大規模な集落遺跡です。昨年度の発掘調査では、縄文時代早期の竪穴住居跡 32 基、連穴土坑 130 基、土坑 379 基、集石 468 基、石器製作跡 17 か所が発見されました。また、県内で初めて、押型文土器の時期と考えられる円形の竪穴住居状遺構 4 基が確認されています。

集石と連穴土坑の検出数は県内最多であり、南九州における縄文時代早期の集落の構造・変遷を解明していく上で大きな手がかりとなる遺跡です。

発掘調査から報告書刊行まで

発掘調査

当センターでは、国事業に関わる開発予定地内にある遺跡の発掘調査を実施しています。



① 表土掘削

バックホーなどの重機で、表土などを取り除きます。



② 遺構検出・掘り下げ作業

人力で掘り下げ、竪穴住居跡などの遺構や遺物を探します。



③ 写真撮影

見つかった遺跡や遺物は、写真でも記録します。



④ 出土遺物の測量作業

土器などの遺物は、出土した場所などを記録して取り上げます。



⑤ 遺構実測作業

遺構の大きさや形を正確に測り、図面していきます。



⑥ 現地説明会の開催

調査の成果は、現地説明会を開き公開します。

整理作業

発掘現場で出土した遺物は、水洗い・注記・接合・復元・実測・トレース・レイアウト・写真撮影などの作業を経た後、調査報告書として刊行されます。



① 接合

土器や石器のかげらを組み合わせています。



② 復元

足りない部分を石こうなどで補い、形や色を復元します。



③ 実測

土器や石器の大きさ・形・文様などを測って図面に描きます。



④ トレース

土器・石器、住居跡などの実測図面を、ペン書きで仕上げていきます。



⑤ 写真撮影

図面では表現できない色や質感は、写真で記録します。

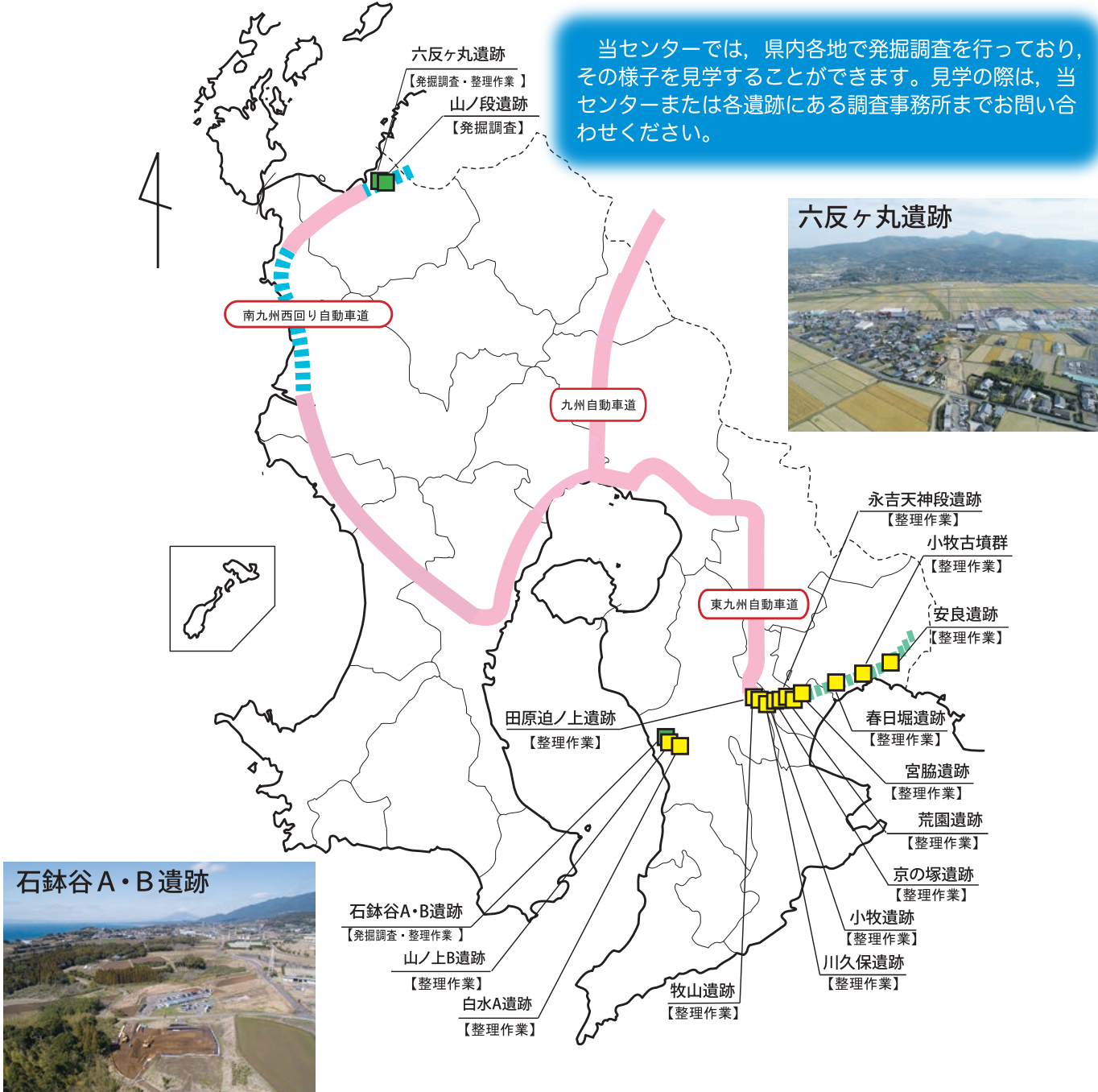


⑥ レイアウト

ページごとに原稿や図面の配置・位置を決め、体裁を整えます。

令和元年度発掘調査・整理作業予定遺跡

当センターでは、県内各地で発掘調査を行っており、その様子を見学することができます。見学の際は、当センターまたは各遺跡にある調査事務所までお問い合わせください。



令和元年度の事業内容

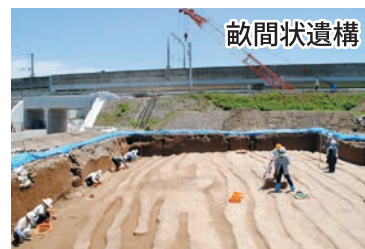
内 容	起因事業	遺跡名	所在地	調査期間	内 容	起因事業	遺跡名	所在地	調査期間
発掘調査	国道220号 古江バイパス建設	石鉢谷B 遺跡	鹿屋市	R元.11～R2.1	整理・ 報告書 作成	東九州自動車道建設	永吉天神段 遺跡	大崎町	H31.4～R元.9
		山ノ段遺跡	出水市	R元.11～R2.1			京の塚遺跡		H31.4～R2.3
	南九州西回り 自動車道建設	六反ヶ丸 遺跡		R元.5～R元.10			小牧遺跡	鹿屋市	H31.4～R2.3
整理		石鉢谷A・B 遺跡	鹿屋市	R元.10,R2.2・3			川久保遺跡		H31.4～R2.3
整理・ 報告書 作成	東九州自動車道建設	安良遺跡	志布志市	H31.4～R2.3			牧山遺跡		H31.4～R2.3
		小牧 古墳群		H31.4～R2.3			田原迫ノ上 遺跡	大崎町	H31.4～R2.3
		春日堀遺跡		H31.4～R2.3			白水A遺跡		H31.4～R元.9
		宮脇遺跡	大崎町	H31.4～R2.3		国道220号 古江バイパス建設	山ノ上B 遺跡		H31.4～R2.3
		荒園遺跡		H31.4～R2.3			六反ヶ丸 遺跡	出水市	H31.4～R2.3

平成30年度刊行報告書

高野木遺跡（薩摩川内市大小路町）

高野木遺跡は、薩摩川内市街部改修事業に伴い、平成27・28・30年度に発掘調査が実施されました。

調査の結果、中世のものと考えられる畝間状遺構（畑跡）が検出されたのをはじめ、古代から近世の遺物が出土し、多くの成果を得ることができました。



畝間状遺構



地下式坑

永吉天神段遺跡（曾於郡大崎町）

永吉天神段遺跡は、シラス台地縁辺部に位置する、旧石器時代から近世までの複合遺跡です。

本報告書の第3地点からは、わずか1点ながら旧石器時代の三稜尖頭器が出土しました。また、中世の五輪塔の笠石を段差の踏み石に転用した道状遺構をはじめ、鹿児島県で初となる地下式坑7基が発見されたほか、貿易陶磁器や国産陶器などの交易品が出土しました。

見帰遺跡（志布志市志布志町）

見帰遺跡からは、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期の遺構や遺物が発見されました。

旧石器時代では、ナイフ形石器文化期と細石刃文化期の2つの文化期の遺物が出土しました。縄文時代中期では、遺物は石鏃2点が出土したのみですが、落とし穴と考えられる土坑5基が検出されました。



落とし穴



石器集積遺構

川久保遺跡（鹿屋市串良町）

川久保遺跡は、串良川右岸の河岸段丘上に位置する、旧石器時代から近世までの複合遺跡です。

旧石器時代の三稜尖頭器、縄文時代の竪穴住居跡や石器集積遺構、古墳時代の竪穴住居跡、古墳時代から近代にかけての溝状遺構や道跡の発見は、先人たちの土地利用を考える貴重な資料となりました。

発掘調査成果の公表

ー 現地説明会・鹿児島県文化振興財団体験フェアー

当センターでは、発掘調査成果の公表や遺跡の公開に努めています。昨年度は、春日堀遺跡（志布志市）や六反ヶ丸遺跡（出水市）で現地説明会を実施しました。今年度の実施計画が決まりましたらホームページなどに案内を掲載しますので、ぜひ御参加ください。

また、宝山ホールで開催される「みてきてあそぼう！鹿児島県文化振興財団体験フェア」〈8月31日（土）～9月1日（日）10:30～15:30〉では、発掘調査中の遺跡の紹介や出土した土器や石器などの展示も行う予定です。

お気軽にお越しください。



（公財）埋蔵文化財調査センターのホームページは、上野原縄文の森（<https://www.jomon-no-mori.jp>）または、鹿児島県文化振興財団（<http://www.houzanhall.com/zaidan/>）からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

～かごしまの遺跡～

第19号

発行日 令和元年6月10日
編集・発行 （公財）鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-70-0574 FAX 0995-70-0575
URL: <https://www.jomon-no-mori.jp>
E-mail: maibunchosa@tuc.bbiq.jp